

女子美術大学は、文部科学省より優れたキャリア教育システムとして認められた事業※に取り組んでいます。

よいデザインの作品や商品を製作しても、産業界をはじめとした社会に受け入れられるとは限りません。発想やアイデアを、ニーズに合った形で提供するための力を身に付けるため、商品テーマに基づいて企画提案から商品制作・販売、収支状況の分析・改善検討と続くサイクルを、メーカーや小売り、自治体等の現役担当者を迎えて実践的に学びます。

学生は、自らが制作する作品を通してどのように社会に貢献していくのかを考え、生涯にわたるキャリア育成のベースを作ります。この度、その一環で3月20日より一週間、株式会社バルコのご協力を得てバルコ吉祥寺店にて催事販売を行います。

期間限定

女子美術大学のプロジェクト「b・tanぬぐい」による
ポップアップSHOPとして吉祥寺バルコに登場。

「b・tanぬぐい」

presented by 女子美術大学

◆3/20(水・祝)~26(火)

◆吉祥寺バルコ 2F・エスカレーター横

女子美術大学のプロジェクト「b・tanぬぐい」が、今までは処分されてきたB反手拭を、実用的で華やかな小物へと甦らせます。

手拭で作った花飾り「びいたん花」、持ち手の長さが自由に変えられる「さんかく袋」、海や山でもシートとして使える「花つなぎの布」など実用的で華やかな製品と小物が生まれました。



※平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受けました。

注染「b・tanぬぐい」プロジェクトについて

注染(ちゅうせん)について

注染は、古くから行われていた型染を基本として、明治時代の産業革命期に考え出された日本伝統染色技法です。模様彫られた型紙の上から染色糊を白布に置き、これを繰り返します。型置きが終了して重ねられた布の上から染料をたっぷり注ぎ、布の下から染料を吸引して染色します。染色糊が付いている所は防染され、糊が付いていない所に色が染まり、布に模様が表示されます。全ての工程が熟練の職人による手仕事で行われます。

注染はたっぷりの染料で布の繊維一本一本まで染めるため、色が美しく深みがあり、柄の輪郭がやわらかく、機械プリントでは出せない味わいがあります。最大の特長は、染料が布を通過するために布の模様は裏表が出来ず、両面に模様が表示されることです。このため、一重で着る浴衣(ゆかた)や手拭いの染色とされています。歩いて浴衣の裾が返っても色柄が同じであること、ねじり鉢巻をしても色柄が同じように出ること、これは見えないところに気配りする「日本人の美意識」であり、これによって注染は今に続いています。



注染「b・tanぬぐい」プロジェクトの活動について

女子美術大学は、注染を教育に取り入れている唯一の大学です。注染「b・tanぬぐい」プロジェクトは、日本伝統染色技術を見直し普及させるため、また、僅かな染ムラのためにB反(規格外)となった注染布をデザイン力で甦らせるためという、二つの目的で始まりました。一つ一つ手仕事で染められた日本の優れた布素材が、使われることなく処分されてしまうのは、非常にもったいないという思いがありました。まもなくプロジェクトは6年目を迎えますが、それには60余年前に注染の「染まりの美しさ」に注目し、授業に取り入れて以来の歴史と経験が土台にあります。

学生の若々しい発想で、注染の布素材が持つ模様や色の美しさを味わえ、丈夫で肌ざわりが良く、汗や水をよく吸い、すぐ乾くという特長を活かした製品を企画し、そうして生まれたオリジナルデザインの手拭いやB反手拭いを甦らせた製品の販売を行っています。さらに、手拭いを使った店舗内装の協力、小学校での手拭いデザイン指導とb・tanプロジェクトの指導、注染工場と連携した新しい事業展開の模索などへと活動は広がっています。

現在、女子美術大学の学科や学年を超えた学生が、卒業とともにプロジェクトを通して自分自身のアイデアが社会にどのように繋がっていくのか体験的に学んでいます。素材や技術を大切にすると、工芸系の学生、製品化や広告に強いデザイン系の学生、のびやかな発想を得意とする絵画系の学生が、それぞれの得意分野を活かして取組んでいます。

b・tan 製品

- **花つなぎ布**
海を愛する人の、ビニール等海を汚すものは使いたくないという思いに応えて、ビニールシートの代わりに使う布のシートとして考えました。布端にあるループに花ボタンを通す事で布が繋がり、楽しい柄がどンドン広がります。また、間仕切りやカーテンとしても使え、ループとボタンを留める位置を工夫することでマントのように羽織ることも、腰に巻くことも出来ます。付属の三つ編み紐で、ぐるぐる巻いて小さく収納できます。
- **輪ぬくい**
手拭いを首にかけただけではおしやれではないし、落とす可能性もあることから考案された輪状の手拭いです。小物が入るポケットがついています。「たすきかけ」にしてジョギング用にも、二重巻きにしてマフラー代わりに使えます。
- **ちよこっと袋(大小)**
冷たい飲み物をバッグに入れても、この袋に入れていれば濡れません。また、夏には胸に掛けて持ち歩き、小まめに水分補給をするなど、ちよこっと何にでも使える袋です。大はワインを入れてプレゼントしたり、豊んだ日傘をちよこっと入れたりなど便利です。
- **さんかくバッグ**
着物の「はぎれ」から作る手持ち袋を改良し、持ち手の長さを調節できるモダンなショルダーバッグにしたものです。手拭いの巾巾を有効に生かしています。大きな物が入っても口が開かないよう紐リボンをつけました。量めば小さくもなる便利なバッグです。
- **くまの帽子、魚の帽子**
男女共用、フリーサイズの帽子です。柔らかな布の良さを活かし、可愛いらしいゴムで一部をつまみ子供用として使用できます。くまや魚の形を生活したい時は、裏に返してプレーンな帽子として使えます。リバーシブルタイプです。
- **サウナガン**
女子美術大学の海外協定校があるフィンランドと日本の文化の比較から考案された商品です。お風呂上りの夏のガンとして、ビーチウエアやカーディガン代わりにも着られる、肌ざわりが気持ち良いガンです。
- **btan花**
1cm以下に細く切った手拭いから生まれた商品です。髪に結んで、胸に飾って、バッグの持ち手に結んで、色々に使えます。全て手拭いから作られているので濡れても大丈夫で、乾けば元に戻ります。
- **小つなぎ布**
花つなぎの布より小さな、一人用の敷物が欲しいという要望に応え考案された商品です。小さな風呂敷としても使えます。
- **JAM!バッグ(A4サイズ)**
女子美術大学の美術館(JAM)のミュージアムグッズとして考案された商品です。A4サイズの書類が入り、ポケットの扱いに工夫がされています。
- **JAM!バッグ(巾着)**
女子美術大学の美術館(JAM)のミュージアムグッズとして考案された商品です。持ち手を片方に通すと和風にもなり、浴衣を箆たときの手提げとしてぴったりです。
- **クールタイ**
家庭に溜まってしまふ保冷材を再利用する、暑さ対策グッズです。冷たさは入る場所や結び方で調整します。ゆっくりと冷やしたい時はタイの片方をループに通し、急冷にしたい時はタイをしっかり結んでお使いください。首に巻くものだからこそ、肌ざわりの良さが活かされます。
- **ぬくいエプロン**
手拭いそのものを活かして、シンプルなカフェ・エプロンです。手を拭いてもすぐに乾きます。ポケットの他に小袋がついており、背中側にしてスマートフォンなどが濡れないようにすることができます。
- **ターバン帽子**
大人の帽子をイメージしたおしゃれな商品です。帯の巻き方を工夫することで大人っぽく、リボンのように結ぶと華やかに、おしゃれな男性的なイメージにと色々な変化が楽しめます。
- **ちびくま小物入れ**
ティッシュ入れから考案された小物入れです。中の物が見えず落ちにくいようにと、口の部分に工夫がされています。

オリジナルデザイン手拭い製品

「注染が持つ独特のデザインを活かす」と「レトロモダン」をテーマに制作された、女子美術大学の学生によるオリジナルデザインの手拭いです。手拭いの歴史家の講義や昔の資料をもとに、自由で新鮮なデザインが生まれました。